

○大阪能登互助会総会

5月29日に大阪市のホテル日航大阪で大阪能登互助会の定期総会・懇親会が行われました。
谷内田栄次会長が挨拶し、事業報告を行いました。来賓の東孝司連合会会長のほか、宮下為幸中能登町長、木本正成県大阪事務所長が祝辞を述べました。懇親会では、南昭榮中能登町議長の音頭で乾杯が行われ、中松勝彦加賀浴友会会長による万歳三唱、辻口信良連合会副会長の発声による「石川・愛！」など、参加者は終始賑やかな雰囲気を楽しみました。



同窓会情報

七尾高等学校関西同窓会

5月17日に大阪市の新大阪ワシントンホテルプラザで第44回七尾高等学校関西同窓会が行われ、参加者76名が母校の思い出などを語りました。
特別講演として、同校OBの堀清次(株)VC Cell Therapy>取締役CTOが「iPS細胞治療、開発の現状と展望」と題して講演し、参加者は再生医療の現状に関し理解を深めました。その後、来賓の久保聡本部同窓会会長、樋上哲也学校長、同校OBでもある茶谷義隆七尾市長が挨拶しました。



県事務所だより

羽咋市内でトキが放鳥されました！(本州初)

トキは、明治時代のはじめまで日本中に生息していましたが、明治以降の乱獲や生息環境の悪化により、急激に数を減らしました。昭和45年に本州最後の個体である「能里(のり)」が穴水町で捕獲されたなど、トキとゆかりの深い石川県ですが、地域を挙げた受入れ準備の取り組み等が評価され、本州で初となるトキの放鳥地に選ばれました。
このたび、5月31日に羽咋市で秋篠宮皇嗣同妃両殿下ご臨席のもと、トキ放鳥記念式典が開催されました。今後、9月頃には中能登町春木地区で2回目の放鳥が予定されています。今後、能登復興の象徴として、多くのトキが石川の空をはばたくことを願っています。



能登地域トキ放鳥PRキャラクターのとっきー

万博の記憶

昨年に開催された「大阪・関西万博」では、石川県関係の多くの展示・イベントが行われました。会場中央エリアでは、石川県輪島漆芸美術館が所蔵する輪島塗大型地球儀「夜の地球 MONOTON ZOO」が展示され、多くの人が地震・豪雨などの災害や世界で絶えない紛争地域における復興推進に向け思いを巡らせました。
8月下旬の「石川の日」では、初日にEXPOアリーナで「祭り」をテーマとした催しが行われ、県内20団体、総勢千人以上が出演。石川の伝統文化の魅力をアピールしました。特に、被災した能登地域の5つの祭りを会場で再現し、復興に向けた姿を発信しました。
EXPOメッセでは、一流シェフが参加した食文化イベントのほか、地酒の飲み比べや和菓子づくり体験が行われました。ブースによっては最大60分待ちとなるなど、多くの人でにぎわいました。



関西石川県人会連合会 県人会だより

2026年度 第1号
令和8年 6月



関西石川県人会連合会
第9代会長 東 孝司

能登地域トキ放鳥記念式典 (5月31日)



提供：石川県

会長ご挨拶

関西石川県人会連合会

第九代会長 東 孝司

会員の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より、関西石川県人会連合会の活動に多大なご支援、ご協力を頂き、心より感謝申し上げます。

私たちのふるさと石川県は、依然として令和6年に発生した能登半島地震及び奥能登豪雨による被害からの復旧・復興の途上にあります。

我々は石川から離れて生活しておりますが、日頃の買い物で県産品を選択することや、里帰りや観光を兼ねた石川への旅行を楽しむこと自体が、ふるさと支援につながります。

被災地域の宿泊施設は、施設被害のほか、災害復興事業者優先などの事情により、地震前の受け入れ水準に戻っていないのが実情です。その中でも少しずつ、一般観光客の受け入れを再開する施設が増加しつつあることです。

引き続き、ふるさとに心を寄せながら、応援消費を継続してまいります。

さて、昨年12月には、「治部煮」に代表される料理や、輪島塗、九谷焼などの伝統工芸品を盛り付けに用いることで知られる「加賀料理」が国の登録無形文化財に登録されたと、和食の分野では、「京料理」に次いで国内2例目の登録とのこと。

和食は、平成25年のユネスコ無形文化遺産への登録もあり、健康志向の強い地域を中心に、海外においても人気が高まっています。石川県が和食の本場として、国内外からの注目がさらに高まることを期待したいと思います。

関西石川県人会連合会としても、機会をとらえ、ふるさと石川の魅力を発信してまいりたいと思っておりますので、引き続き、皆様のご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、会員の皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。挨拶とさせていただきます。

○関西石川県人会連合会役員新年互礼会

関西石川県人会連合会の役員新年互礼会は、1月22日に大阪市のホテル日航大阪で開かれ、25人が出席しました。東孝司会長が「会員の絆を深め、石川の応援団として活動していこう」と挨拶しました。前田家19代当主の前田利宜名誉顧問より祝辞をいただきました。



○加賀浴友会新年会

加賀地区にルーツをもつ関西在住の公衆浴場業者らで構成される加賀浴友会の新年懇親会が1月27日に大阪市のニュー・ミュンヘン南大使館にて開催され、来賓を含む42人が一堂に会し、交流を深めました。中松勝彦会長の挨拶の後、東孝司連合会会長、田中宏司大阪信用金庫副理事長が祝辞を述べました。谷内田栄次能登互助会会長の発声で乾杯し、北出守大阪公衆浴場業生活衛生同業組合常務理事が中締めをしました。



©石川県観光連盟

県人会から

○大阪能登互助会新年会

関西在住の能登出身者を中心に構成される大阪能登互助会の新年会が1月13日に大阪市のホテル日航大阪で開催され、26名が交流を深めました。

谷内田栄次会長が「今年も元気に楽しく活動していきましょう」と挨拶し、東孝司連合会会長が祝辞を述べました。竹本正平大阪事務所長の発声で乾杯し、山本三郎相談役が中締めをしました。



○関西能美市の会総会

5月23日に大阪市のホテルプリムローズ大阪で関西能美市の会総会・懇親会が開かれ、来賓を含む22名が親睦を深めました。吉田成一会長が挨拶を述べた後、事業活動報告等が行われました。来賓の井出敏能美市長から祝辞及び市勢報告が行われ、参加者はふるさと近況について理解を深めました。その後、北陸放送の元アナウンサーである辰巳平一氏（旧寺井町出身）や木本正成大阪事務所長が挨拶しました。

